



ナイス福岡 会報

自然感

くすのき

2024年8月

第 349 号



○ 水辺なのに一面の緑。そこにポツンと白い鳥が一羽、気だるげに

歩いている。夏。 aiko.

★ 都市公園で自然観察会 県立春日公園での自然観察会(152回)

日時:8月17日(土)10時から12時まで 集合場所:公園の中央付近にある自然あそび館

「問い合わせ先」 担当:田村耕作 Tel 090-8220-6160(田村の携帯)

参加費 会員200円 一般 300円 生きものに関心のある方ならどなたでも

注意 各団体とも、様々な状況により、下記の予定も当日でも変更になることがあります。詳しくは各団体にお問い合わせください。

日本野鳥の会 福岡支部 主催

8月18日（日）9月15日（日）
天拝山探鳥会（筑紫野市）
時 間：8:00～11:00
集 合：天拝山歴史自然公園
問合せ：090-7165-5026（重松尚紀）

※一般参加費：300円（中学生以下無料）

8月25日（日）9月22日（日）
久末ダム探鳥会（福津市）
時 間：8:00～11:00
集 合：久末ダム多目的広場駐車場横
問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

9月1日（日）
今津探鳥会（福岡市西区）
時 間：8:00～11:00
集 合：玄洋高校西側道路
問合せ：090-8220-6160（田村耕作）

9月14日（土）
大濠公園（福岡市）
時 間：9:00～12:00
集 合：ボート乗り場前
問合せ：0920-573-1827（森健児）

9月8日（日）
和白海岸探鳥会（福岡市東区）
時 間：9:00～12:00
集 合：JR 和白駅前の公園
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

9月3日（火）
県営春日公園（春日市）
時 間：10:00～12:00
集 合：音楽堂ステージ側（第5P）
問合せ：090-8220-6160（田村耕作）



咲き終わったマンリョウ花：三国 松永

日本野鳥の会 筑後支部

9月8日（日）
濃施山公園（みやま市）
時 間：9:00～12:00
集 合：公園内すいせん橋
問合せ：090-7159-3933（松富士将和）
8月は、探鳥会はお休みです。

福岡植物友の会

詳細は問合せください。
森 實（092-862-1858）

三国丘陵の自然を楽しむ会 主催

<http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

9月7日（土）
集 合：九州歴史資料館
第1駐車場
時 間：9:30～12:00
(早めに終わるかもしれません)
問合せ：092-920-3072
参加費：大人 200円

8月の観察会はお休みです。

コロナ対策：ブログにて確認
ブログ 「三国丘陵の自然を楽しむ会」で
検索

久留米の自然を守る会

詳細はお問い合わせください。
問合せ：0942-43-7959（河内俊英）



タマゴクロバチ科に寄生されたマルカメムシの卵塊：三国 松永



三国丘陵の自然を楽しむ会
観察の様子

和白干潟を守る会

8月24日（土）
定例会議
時 間：12:00～14:00
集 合：和白干潟を守る会事務所
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

8月24日（土）
クリーン作戦 と自然観察会
時 間：15:00～17:00
集 合：海の広場 駐車場なし
長靴・軍手があると便利
問合せ：090-1346-0460（田辺スミ子）



7/2(旧5/27)筑紫野市天拝坂

隣家の庭木にダイミョウセセリがやって来た。後翅の白点曲線が美しい関西型。関が原から東には後翅白点は無いらしい。吸蜜しているこの花の樹種は、調べると「セイヨウニンジンボク」らしい。シソ科ハマゴウ属。

7/3(旧5/28)筑紫野市天拝坂

ハシボソガラスの幼鳥。口中の肉色が生々しい。ギャアギャアと3兄弟で騒いでいる。

7/4(旧5/29)太宰府市

戒壇院の境内に鮮やかな黄色い花。案内板では、ムクロジ科モクゲンジとある。長い雄しふの雄花



7/4(旧5/29)太宰府市

此處では始めて出会った。天拝で姿を観なくなつて久しい。離れた位置にもう1羽が確認できた。

7/6(旧6/1)筑紫野市天拝坂

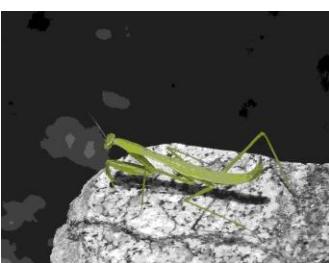
オオハカリバチに似ている。尻のずんぐりしたハナバチの仲間。ハキリとあるが松脂で巣を作る。

7/10(旧6/5)筑紫野市天拝坂

何かを探す様子で、しばらく電線でキヨロキヨロしていたが急に消えた。まだ繁殖期か？

7/11(旧6/6)筑紫野市天拝坂

中身があるかと思ったら、空蝉だった。夏の季語。17歳の光源氏を恼ます空蝉は紫式部がモデルとも…



7/17(旧6/12)筑紫野市天拝坂

オオカマキリの幼体だろうか。焼けた花崗岩の上で何をしているのか。暑くないの？木陰へ移す。

7/18(旧6/13)太宰府市都府楼南

平安時代に中国から入ったらしい。ノウゼンカズラ。繁殖力が強くツル性なので厄介という。

7/18(旧6/13)筑紫野市天拝坂

自宅周りはクマゼミの声ばかり。ワシワシの声は夏の音。最近金色のクマゼミが時々いる。暑い。

7/20(旧6/15)筑紫野市天拝坂

このあと22日に梅雨明けとなつたが、積乱雲が目立つようになつた。真夏日が続いている。



7/25(旧6/20)筑紫野市天拝坂

午後に南東から北上通過した雷雲の塊は、今までになく激しく、家の周りで何個も落ちた。太宰府市青葉台では二階建て家一軒が燃えたという。これから先、地球沸騰の時代になるのか。20年前の警鐘が虚しい。

くすのき 2024年8月号投稿原稿-本のむし

7/31(旧6/26)筑紫野市天拝坂

鳥が運んだか、玄関先で実生したイヌビワ。小さいうちは彩に良かったがそろそろ切るか。

7/31(旧6/26)筑紫野市天拝坂

3cm+の小さなジョウケモ。庭のあちこちに巣を張っている。脱皮後か？足が透けてる。

●太宰府の三堂宗信さんがお亡くなりになりました。お世話になりました。謹んでお悔やみ申し上げます●

Nais-fukuoka 福岡県自然観察指導員連絡協議会

春日公園自然観察会 令和6年7月20日（土）【参加者数】6人【担当】、田村耕作

観察は、自然あそび館～芝生広場・調整池の小さな用水路を巡り～自然風庭園を経て自然あそび館にもどった。

観察内容 晴れ、34℃で開始。お昼には36℃と、気温上昇した。調整池の小さな用水路沿いに生きものを観察し、日陰を選択しつつ、観察した。

植物 ネジバナの種（空でした）、ウチワゼニクサ、コナスビ（花）、ヒナギキョウ（花）、アメリカスズメノヒエ、ユズリハ（雄木と雌木）、サンゴジュ（実）

昆虫 モンシロチョウ、シオカラトンボ♂♀、ハラビロトンボ♂、コシアキトンボ、ウスバキトンボ、ヒラタアブの仲間、ヤマトシジミ、ショウジョウトンボ♂♀、ベニシジミ、オオシオカラトンボ♂、ギンヤンマ、クマゼミ、アブラゼミ、ナミハンミョウ、

野鳥 ムクドリ、メジロ、ハシボソガラス、ヒヨドリ、ハシブトガラス、キジバト、ツバメ、スズメ、ヤマガラ、シジュウカラ、ハクセキレイ（幼鳥）、アオサギ、カワラバト、アヒル

その他 ジャンボタニシ（スクミリンゴガイ）、

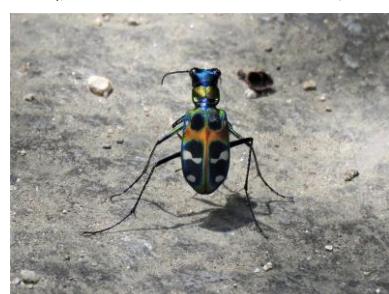
感想（参加者の声）

- ・ネジバナ（咲き終わったもの）を見かけたが、種を見つけられず、残念。
- ・ウチワゼニクサ（チドメグサの仲間）、用水路内で多く繁茂していた。
- ・ユズリハの雄木と雌木を観察できた。
- ・赤い蜻蛉のショウジョウトンボ♂♀を観察できた。♂が止まって尾を立てていた。暑さが関係しているのか。
- ・自然風庭園の池で、ジャンボタニシが浮いていた。浮く理由は宿題なり。

あそび館前から観察会開始

ウチワゼニクサ

色彩が目立つナミハンミョウ



シロツメクサの花にヤマトシジミ

ショウジョウトンボ♂

暑さ対策で休憩



サンゴジュの実を写す参加者

実の色が目立つサンゴジュ

林内で休息するカワラバト、暑さ対策かな



撮影 7/20：田村耕作

会員からの投稿（1）秋山芽生子 博多湾の東部を中心に活動中

博多湾東部の和白干潟、雁の巣の干潟、その周りで2024年7月に見かけたいきものを紹介します。
美しい自然の水辺



飛ぶ若いウミネコ



ミサゴ



会員からの投稿（2）田村耕作

福岡市内を流れる樋井川は、標高597mから博多湾にそぞぐ河川で、その流路13kmです。その一部を散策しました。今年も川沿いの木でササゴイが子育てしました。この日は、親鳥3、幼鳥1がそれぞれの場所で食べもの探し中。他に、アオサギ、コサギ、ダイサギを見かけますが、この川沿いでは繁殖していないようです。

幼鳥のササゴイ



ササゴイ 成鳥1



ササゴイ 成鳥2



会員からの投稿（3） 田村耕作／室見川上流にある曲渕ダムで見かけた生きもの

ダム湖に流れ込む川で見かけたナマズかな



オシドリ 1 羽



キセキレイ



ノリウツギの花



ウド



ヒメウラナミジャノメ



この他、水面を渡る猪、アオサギが繁殖、巣立ち後のツバメの群れなど、を観察しました。ほんの少し涼しい気がする場所。

会費振込について
令和元年4月10日

会計年度は6月から翌年5月末までです。会員の皆様、2024年度会費を、各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。

年会費:2000円 郵便振替口座:福岡県自然観察指導員連絡協議会 01760-9-15183

 定例会に参加してみませんか？
次回の定例会は、令和3年6月

今回の定例会は、令和6年9月13日（金）午後2時より事務局で行います。令和6年9月号の原稿は、9/10（火）までに届くようお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。



編集後記 2024年7月の定例発送会は、藤川渡と田村耕作が、それぞれの自宅で作業。

くすのき7月号の感想をいただきました。

この夏の暑さは、私には今までの体験にない暑さのようです。この頃、南からやってくるフクロウの仲間アオバズク、今年も5月中旬頃から目撃情報が届きました。小さな鎮守の杜、楠木に2羽、そのうち1羽の状況が続きました。再び2羽となり、そのそばに幼鳥の出現。そして最近移動してしまいました。この様子は、従来ほぼ同じかな。でも彼らの食べものである小さな生きものには、分布域が変わりつつある種もいます。アオバズクの繁殖に変化はあるのでしょうか。

すでに変化はしているが、私には見えないだけなのか、しっかり見続けることが大事かな。



2024年7/31 福岡市西区 幼鳥2羽